

「わり算の筆算」のやり方をわかりやすく解説 (2けたのわり算)

小学3年生のわり算のふく習

小学3年生のわり算のふく習

① $24 \div 3$

- ・ 24の中に3がいくつ入るか考えると8つだね。
- ・ 3と8をかけたら24になるってことも、かくにんしておこう。

$$\boxed{24} \div \boxed{3} = \boxed{8}$$

$$\boxed{3} \times \boxed{8} = \boxed{24}$$

わる数 商 わられる数

② $32 \div 8$

- ・ 32の中に8がいくつ入るか考えると4つだね。
- ・ 8と4をかけたら32になるってことも、かくにんしておこう。

$$\boxed{32} \div \boxed{8} = \boxed{4}$$

$$\boxed{8} \times \boxed{4} = \boxed{32}$$

わる数 商 わられる数



③ $32 \div 9$

- ・ 32 の中に 9 がいくつ入るか考えると3つだね。
- ・ただ、 9 が3つだと、 $9 \times 3 = 27$ になって、あまりが出るよ。
- ・あまりは $32 - 27 = 5$ だよ。

④ $38 \div 5$

- ・ 38 の中に 5 がいくつ入るか考えると7つだね。
- ・ただ、 5 が7つだと、 $5 \times 7 = 35$ になって、あまりが出るよ。
- ・あまりは $38 - 35 = 3$ だよ。

2けたのわり算の筆算のやり方

$72 \div 3$ を筆算を使って計算しなさい。

まず、わり算の筆算は次のように書くよ。

$$3 \overline{) 72}$$

家の屋根みたいな記号を使うんだ。

わられる数が家の中で、わる数が外に出ることを覚えておこう。

$$\begin{array}{r} \text{わる数} \\ \hline \text{わられる数} \end{array}$$

さっそく筆算をしていこう。

72 って、十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、十の位と一の位、順番に計算をするんだ。



まずは、十の位だけをわり算するよ。

なので、一の位は「ちょっとまわっていてね」と、手でかくしてしまおう。

筆算がしやすいように、マス目もつけてみたよ。

最初のうちはマス目があったほうがわかりやすいと思うよ。

ゆみねこの教科書

3/	7	👉

ゆみねこの教科書

一の位をかくすと、 $7 \div 3$ になるね。

ステップ1：十の位をわる

十の位の「7」を「3」でわるよ。

7の中に3がいくつ入るか考えると2つだね。

だから、十の位の屋根の上に「2」を書こう。

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

	2	
3/	7	👉

$7 \div 3$ をしよう。
7の中には3が
2つ入るよね



十の位の屋根のに「2」を書くことを
十の位に「2」をたてるっていうよ。

ステップ2：たてた数とわる数かける

次に、わる数3と十の位の上にたてた2をかけた数を7の下に書くよ。

	2	
3 /	7	✋
	6	
3と2をかける		

ステップ3：十の位でひき算をする

7から6をひくよ。

	2	
3 /	7	✋
	6	
	1	
7から6をひく		



ステップ4：いちどチェックしよう

ここでチェックすることがあるんだ。
 ひき算した数がわる数3より小さいかをかくにんしよう。
 小さかったらOK。次のステップにいこう。

	2	
3 /	7	✋
	6	
	1	

わる数3より小さい
かチェック

ステップ5：一の位をおろす

十の位のわり算はもうできることがないね。
 だから、ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。
 かくしていた一の位の「2」を下におろそう。

	2	
3 /	7	2
	6	
	1	2

一の位の2を
おろす



一の位の数字を、今計算している場所にもってこないと計算しづらいよね。この数字を計算している場所までもってくることを「おろす」と言うんだよ。

ここまでのステップをふりかえると、次のようになるよ。
下のステップ1～5をひたすらくりかえすのが、わり算の筆算なんだ。
わり算なのに、かけ算やひき算もでてくるね。

わり算の筆算のステップ

- ・ステップ1 わる
- ・ステップ2 かける
- ・ステップ3 ひく
- ・ステップ4 チェック
- ・ステップ5 おろす

それでは、このステップを今度は「一の位とわる数」でくりかえすよ。

ステップ1：一の位をわる

ここからは、おろしてきた一の位の数字の出番だね。

ただ、十の位をわたったときに、あまりが出ていた場合（今回なら「1」があまったね）は、そのあまりと一の位の数字が合体するのでちゅういしてね。

今回は、十の位で1があまっていたよね。

十の位の1ということは、これは「10」のことなんだ。

あまっていた「10」と、おろしてきた一の位の「2」を合体させて、「12」をわることになるよ。



12の中に3がいくつ入るか考えると4つだね。
だから、一の位に「4」を書こう。

	2	4
3/	7	2
	6	
	1	2

12 ÷ 3 をしよう
12の中に3が
4つ入るよね

ステップ2：たてた数とわる数かける

次に、わる数3と一の位の上にたてた4をかけた数を12の下に書くよ。

	2	4
3/	7	2
	6	
	1	2
	1	2

3と4をかける



ステップ3：ひき算をする
12から12をひくよ。

	2	4
3/	7	2
	6	
	1	2
	1	2
		0

12から
12をひく

ステップ4：チェック

ここでチェックすることがあったね。
ひき算した数がわる数3より小さいかをかくにんしよう。
0は3より小さいからOKだね。

	2	4
3/	7	2
	6	
	1	2
	1	2
		0

わる数3より
小さいかチェック



ステップ5は「おろす」なんだけれど、2けたのわり算なので、これ以上おろせるものは残っていないよね。

だから、これで $72 \div 3$ の筆算は終わりになるよ。

屋根の上に乗っている24がわり算の答え

ここまでできたら、屋根の上に乗っている数字をみてみよう。

これが、わり算の答えになっているよ。

わり算の答えのことを「商（しょう）」というから、「 $72 \div 3$ の商は24」と求めることができたね。



わり算の筆算のやり方の流れ

72 ÷ 3の筆算の流れをまとめると、次のようになるよ。

①

3/	7	2

②

	2	
3/	7	👉

7 ÷ 3をしよう。
7の中には3が
2つ入るよね

③

	2	
3/	7	👉
	6	
	1	

3と2をかける
7から6をひく

④

	2	
3/	7	2
	6	
	1	2

一の位の2を
おろす

⑤

	2	4
3/	7	2
	6	
	1	2
	1	2
		0

12 ÷ 3をしよう
12の中に3が
4つ入るよね

3と4をかける
12から
12をひく



わり算のけん算

わり算の筆算は、すこしややこしいよね。

だから、とちゅうでミスをしてしまうことも多いんだ。

だから、できるだけ「けん算」をしてチェックするくせをつけよう。

けん算っていうのは、本当に計算があっているのかをたしかめる方法だったね。

たとえば、今回の「 $72 \div 3$ 」のわり算の答えは次のようになったね。

$$\boxed{72} \div \boxed{3} = \boxed{24}$$

じゃあ、本当に答えが24であっているのかたしかめるために、わる数の「3」と商の「24」をかけ算してみよう。

$$\boxed{3} \times \boxed{24} = \boxed{72}$$

わる数
商
わられる数

計算すると72になるから、

答えはあっているということになるね。

テストなどでは、とくにこの「けん算」をすることが大切になってくるよ。

せっかく一生けんめい筆算をしたのに、ちょっとのミスで答えがまちがえていたら大なしだよね。

わり算のけん算

- ・わる数と商をかけて、わられる数になっているか確認をしよう。



わり算の筆算の練習問題

81 ÷ 3 を筆算を使って計算しなさい。

3/	8	1

ステップ1：十の位をわる

8の中に3がいくつ入るか考えると2つだね。
だから、十の位に「2」を書こう。

	2	
3/	8	👉

8 ÷ 3 をしよう。
8の中には3が2つ入るよね

十の位に「2」を書くことを
十の位に「2」をたてるっていうんだったよね。



ステップ2：たてた数とわる数をかける

次に、わる数3と十の位の2をかけた数を8の下に書くよ。

	2	
3 /	8	✋
	6	
3と2をかける		

ステップ3：十の位でひき算をする

8から6をひくよ。

	2	
3 /	8	✋
	6	
	2	
8から6をひく		



ステップ4：いちどチェックしよう

ひき算した数がある数3より小さいかを確認しよう。
 小さかったらOK。次のステップにいこう。

	2	
3/	8	✋
	6	
	2	

わる数3より小さいかチェック

ステップ5：一の位をおろす

かくしていた一の位の「1」を下におろそう。

	2	
3/	8	1
	6	
	2	1

一の位の1をおろす

ここまでのステップをくりかえそう。



ステップ1：一の位をわる

十の位で余った「2 (20)」と、おろしてきた「1」を合体させて、「21」をわるよ。

21の中に3がいくつ入るか考えると7つだね。
だから、一の位に「7」を書こう。

	2	7
3/	8	1
	6	
	2	1

21 ÷ 3 をしよう
21の中に3が
7つ入るよね

ステップ2：たてた数とわる数をかける

次に、わる数3と一の位の7をかけた数を21の下に書くよ。

	2	7
3/	8	1
	6	
	2	1
	2	1

3と7をかける



ステップ3：ひき算をする

21から21をひくよ。

	2	7
3/	8	1
	6	
	2	1
	2	1
		0

21から
21をひく

ステップ4：チェック

ひき算した数がある数3より小さいかをかくにんしよう。

0は3より小さいからOKだね。

	2	7
3/	8	1
	6	
	2	1
	2	1
		0

わる数3より小さい
かチェック



ステップ5は「おろす」だけれど、これ以上おろせるものは残っていないよね。

だから、これで $81 \div 3$ のひき算は終わりになるよ。

屋根の上に乗っている27がわり算の答え

$81 \div 3 = 27$ と求めることができたね。

わり算の筆算で「ひき算をしたらチェックすること」

わり算の筆算でチェックすることは、ひき算をした答えが、わる数より小さくなっているか。

わり算の筆算で間違えるパターン

もし、8の中に3がいくつ入っているかを考えるときに、「1つ入る」としてしまったらどうなるか見てみよう。



わる数3と十の位の1をかけた数を8の下に書くよ。



	1	
3/	8	👉
	3	
3と1をかける		

8から3をひくよ。

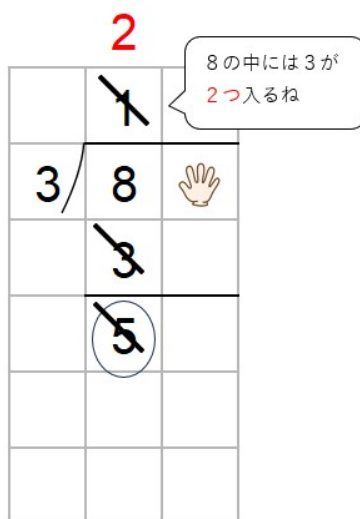
	1	
3/	8	👉
	3	
	5	
8から3をひく		

ひき算した数がわる数3より小さいかをかくにんしよう。
ひき算した数は5だから、わる数より小さくないよね。

	1	
3/	8	👉
	3	
	5	
わる数3より小さいかチェック		
小さくない！！		



ということは、十の位に書いた「1」がまちがっていることになるんだ。



チェックしないまま筆算を進めていくと、ぜんぜんちがう答えになってしまうから、ひき算をした答えが、わる数より小さくなっているかを必ずチェックしよう。

「わり算の筆算のやり方（2けた）」まとめ

わり算の筆算はくりかえし練習していくと、速く計算できるようになるから、教科書や問題集などにのっている筆算をたくさんやっていくといいよ。

「わり算の筆算（2けた）」まとめ

- ・わり算の筆算を使うことで、
大きな数のわり算かんたんに求めることができる。
- ・わり算の筆算は
わる、かける、ひく、チェック、おろすをくりかえす。
- ・ひいた数がわる数より小さくなっているかチェックする。



わり算の筆算の形は次の通り

	商	
わる数	わられる数	
	あまり	

十の位でわりきれる場合

- ・十の位でわりきれても、一の位の計算を忘れないようにする
- ・十の位のひき算が0になっても、一の位の計算を忘れないようにする。

答えがあっているかたしかめる

- ・けん算をする
わる数と商をかけて、あまりをたして、「わられる数」になっているかをかくにんしよう。

今回は2けた÷1けたの筆算だったけど、次は3けた÷1けたの筆算にバージョンアップするよ。

ただ、2けた÷1けたの筆算ができていれば、3けたでもやることは同じだから、2けた÷1けたの筆算をマスターしておこう。

